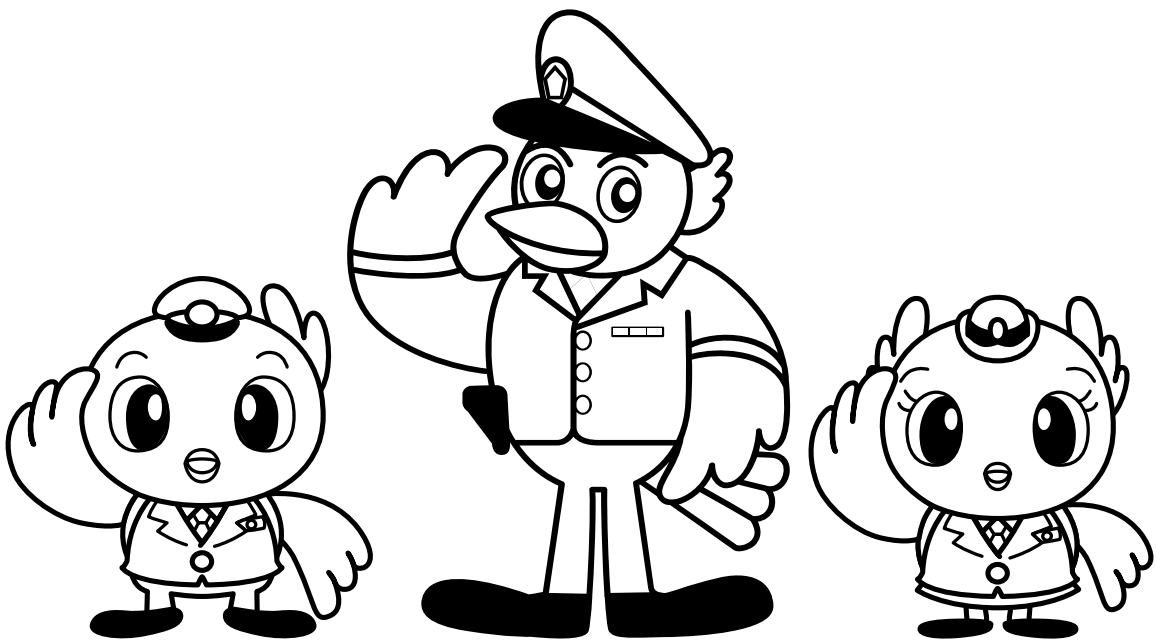


令和4年2月

令和3年中の

交通事故発生状況



茨城県警察本部交通部交通総務課

目 次

1	概 況	1
2	高齢者(65歳以上)が関係した交通事故	5
3	青少年(16~24歳)運転者による交通事故	7
4	飲酒運転による交通事故	9
5	高齢(65歳以上)運転者による交通事故	11
6	シートベルト着用状況	13
7	令和4年の総合的な交通安全対策	14
8	令和4年 交通安全年間スローガン	15

※ 本資料は令和4年2月4日までに入手したデータにより作成

令和3年中の人身交通事故発生状況

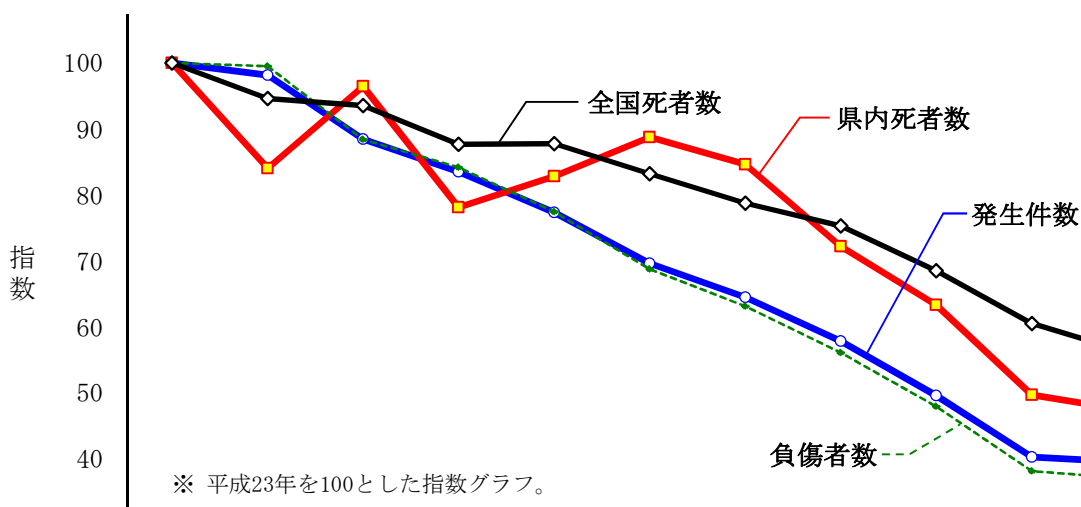
1 概況

県内人身交通事故・全国死者数の推移(平成23年～令和3年)

死者数は80人、前年に比べ4人減少

- 発生件数は5,929件、平成12年(25,429件)のピーク以降、21年連続で減少し、昭和38年(4,749件)以来58年ぶりに6,000件を下回る。
- 死者数は80人、減少傾向で推移し、昭和31年(80人)以来65年ぶりの80人となり、統計資料の残る昭和22年以降で8番目に少ない(最少は昭和23年の39人)。
- 全国の死者数は2,636人(対前年比-203人)で、統計資料の残る昭和23年以降で最少を更新。

	発生件数	死亡件数	死者数	負傷者数
3年	5,929	79	80	7,243
2年	6,049	84	84	7,455
増減数	-120	-5	-4	-212
増減率	-2.0	-6.0	-4.8	-2.8



	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年
発生件数	15,010	14,732	13,279	12,534	11,613	10,455	9,679	8,682	7,447	6,049	5,929
死者数	169	142	163	132	140	150	143	122	107	84	80
負傷者数	19,547	19,448	17,281	16,460	15,135	13,441	12,344	10,965	9,372	7,455	7,243
死者数ワースト順位	9位	11位	10位	11位	11位	8位	9位	10位	9位	11位	11位
全国死者数	4,691	4,438	4,388	4,113	4,117	3,904	3,694	3,532	3,215	2,839	2,636

死者数は全国ワースト11位、人口当たりでは21位

- 死者数全国順位はワースト11位(前年11位)。
- 人口10万人当たりはワースト21位(前年20位)、自動車1万台当たりはワースト31位(前年34位)。

死者数ワースト都道府県

順位	都道府県	死者数	増減数
1位	神奈川県	142	+2
2位	大阪府	140	+16
3位	東京都	133	-22
4位	千葉県	121	-7
5位	北海道	120	-24
6位	埼玉県	118	-3
7位	愛知県	117	-37
8位	兵庫県	114	+4
9位	福岡県	101	+10
10位	静岡県	89	-19
11位	茨城県	80	-4

人口10万人当たり

順位	都道府県	死者数
1位	徳島県	4.49
2位	山梨県	3.97
21位	茨城県	2.82
全国平均		2.10

※人口((R3/10/1))

自動車1万台当たり

順位	都道府県	死者数
1位	徳島県	0.51
2位	愛媛県	0.48
31位	茨城県	0.30
全国平均		0.32

※自動車台数(R2/12/31)

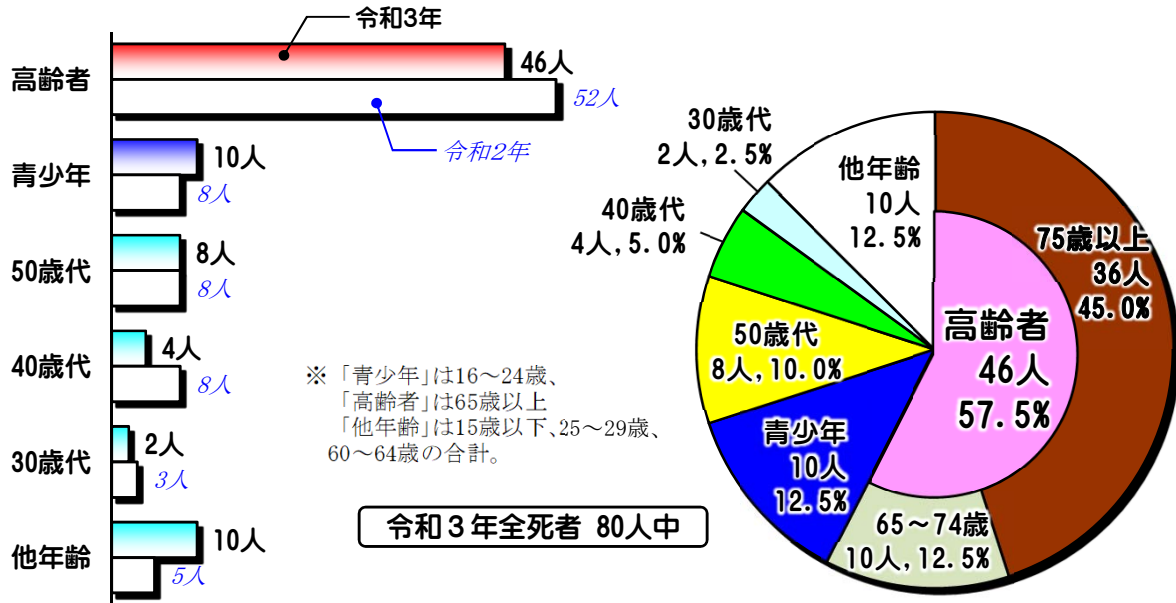
- 死者数80人
全国ワースト11位
【前年11位】
- 人口10万人当たり死者数
全国ワースト21位
【前年20位】
※参照人口はR3年10月1日
- 自動車1万台当たり死者数
全国ワースト31位
【前年34位】
※参照自動車台数はR2年中

※増減数は、対前年比。

年齢層別死者数

高齢者の死者が約6割

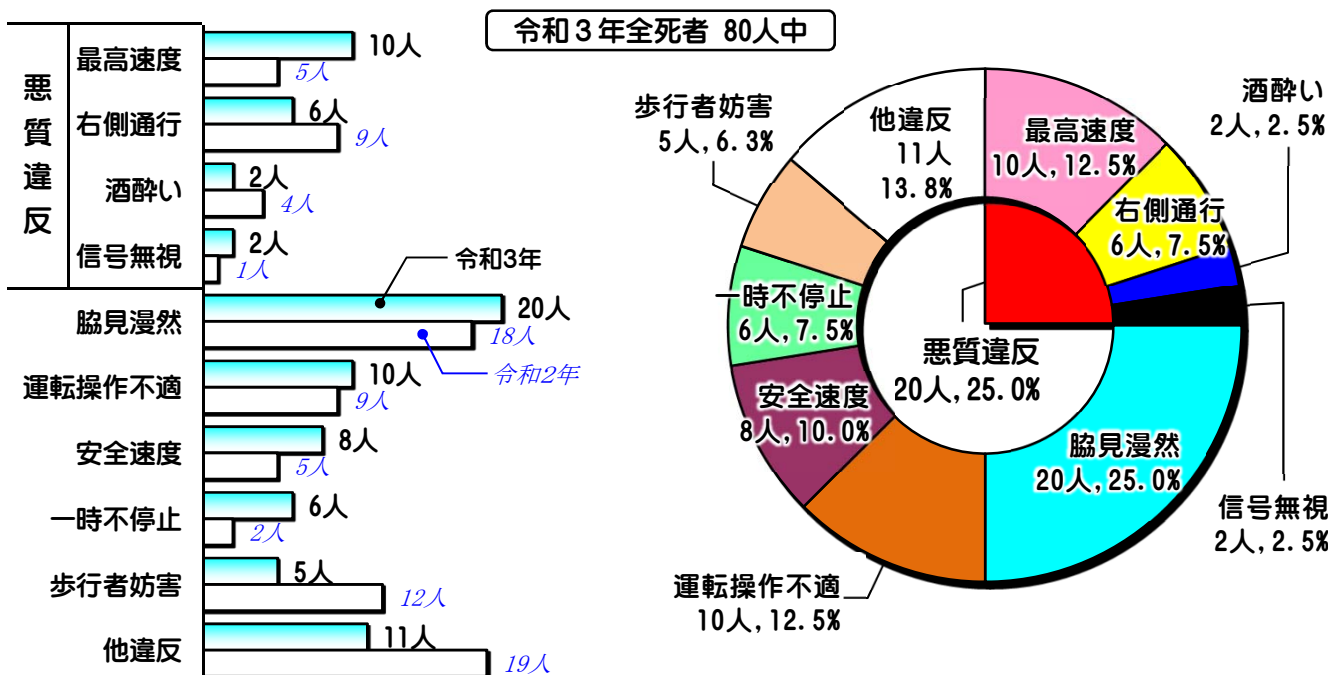
- 「高齢者(65歳以上)」が46人で、全死者の57.5%を占めるとともに、平成6年以降、連続して死者数の最も多い年齢層【高齢者の死者数(46人)は、全国ワースト10位】。
高齢者の年齢層別では「75歳以上」が36人と多く、「65～74歳」は10人。
- 対前年比では「青少年」(+2人)が増加、「高齢者」(-6人)が最も減少。
「40歳代」(-4人)、「30歳代」(-1人)は減少、「50歳代」(±0人)は同数。



第1当事者の違反別死者数

脇見漫然が最多、次いで最高速度・運転操作不適

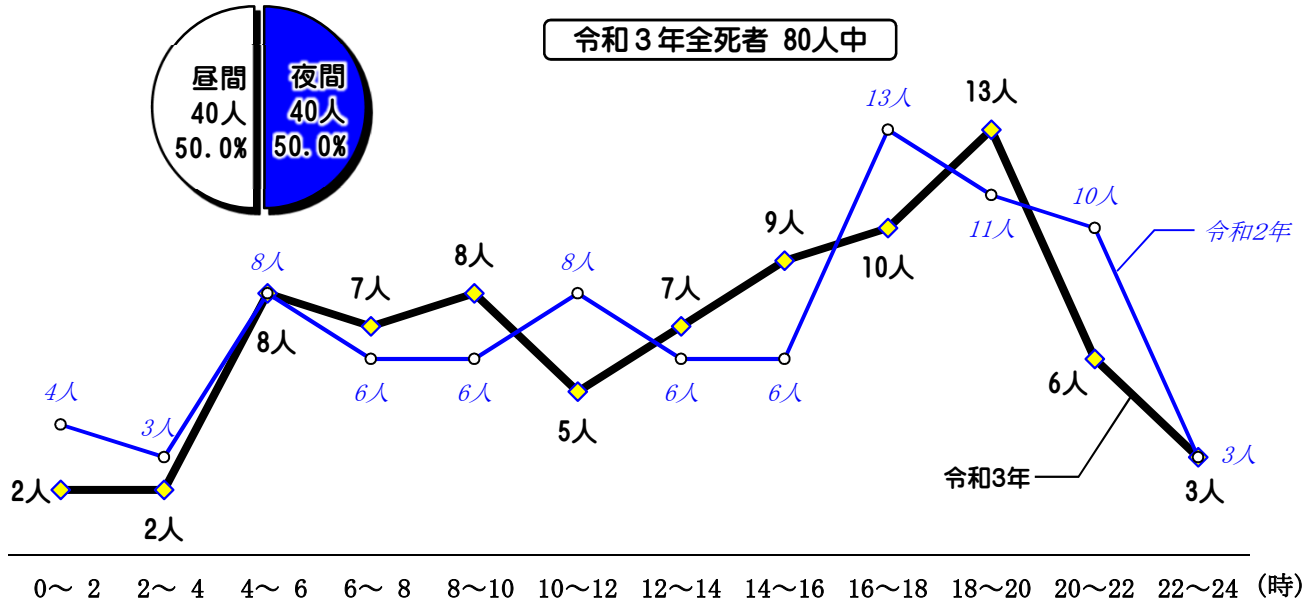
- 「脇見漫然」による死者数が20人で、全死者の25.0%を占め最も多く、次いで「最高速度」・「運転操作不適」(各10人)。
- 対前年比では「最高速度」(+5人)が最も増加、「歩行者妨害」(-7人)が最も減少。
- 「悪質違反」(最高速度、右側通行、信号無視、酒酔いの合計)は20人で、全死者の25.0%を占める。



時間帯・昼夜別死者数

昼夜とも同数、時間帯は18～20時が最多

- 昼間が40人、夜間が40人と同数(各50.0%)。【前年は夜間48人、57.1%】
対前年比では昼間(+4人)は増加、夜間(-8人)は減少。
- 時間帯では「18～20時」(13人)が最も多く、次いで「16～18時」(10人)。
対前年比では「14～16時」(+3人)が最も増加、「20～22時」(-4人)が最も減少。

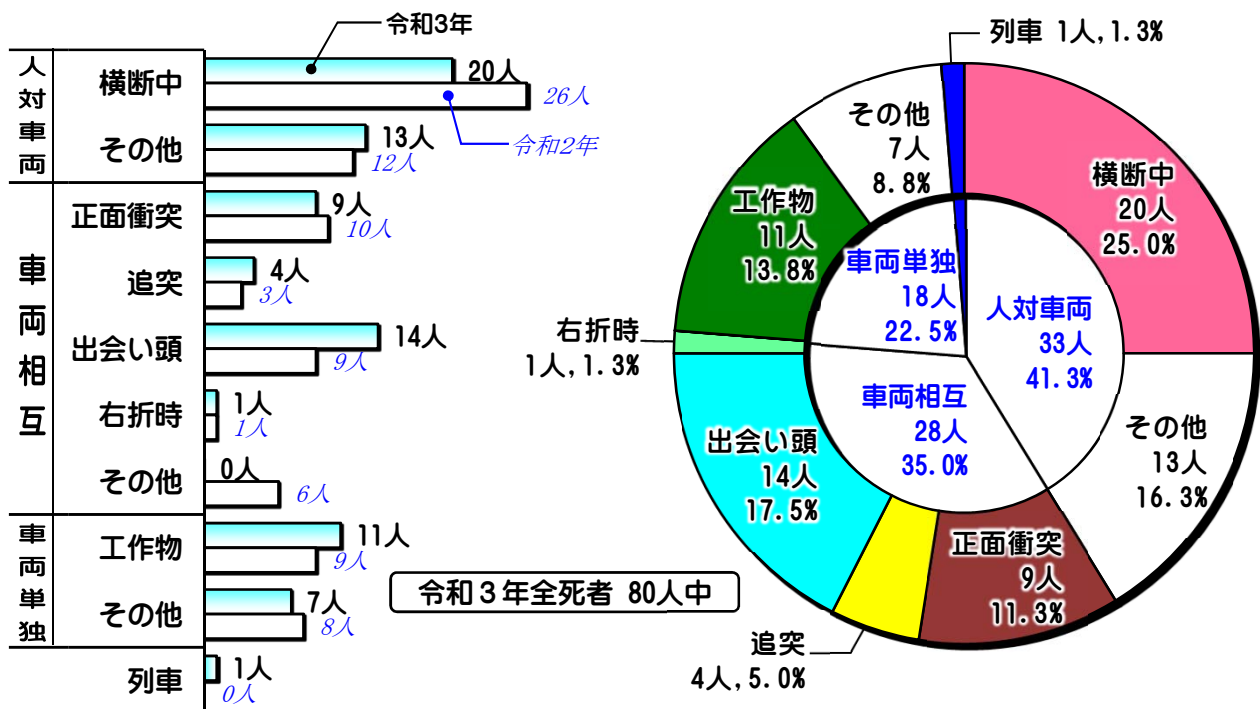


※ 昼夜の区分は、発生日の日の出、日没時刻基準。

事故類型別死者数

人对車両 - 横断中が最多

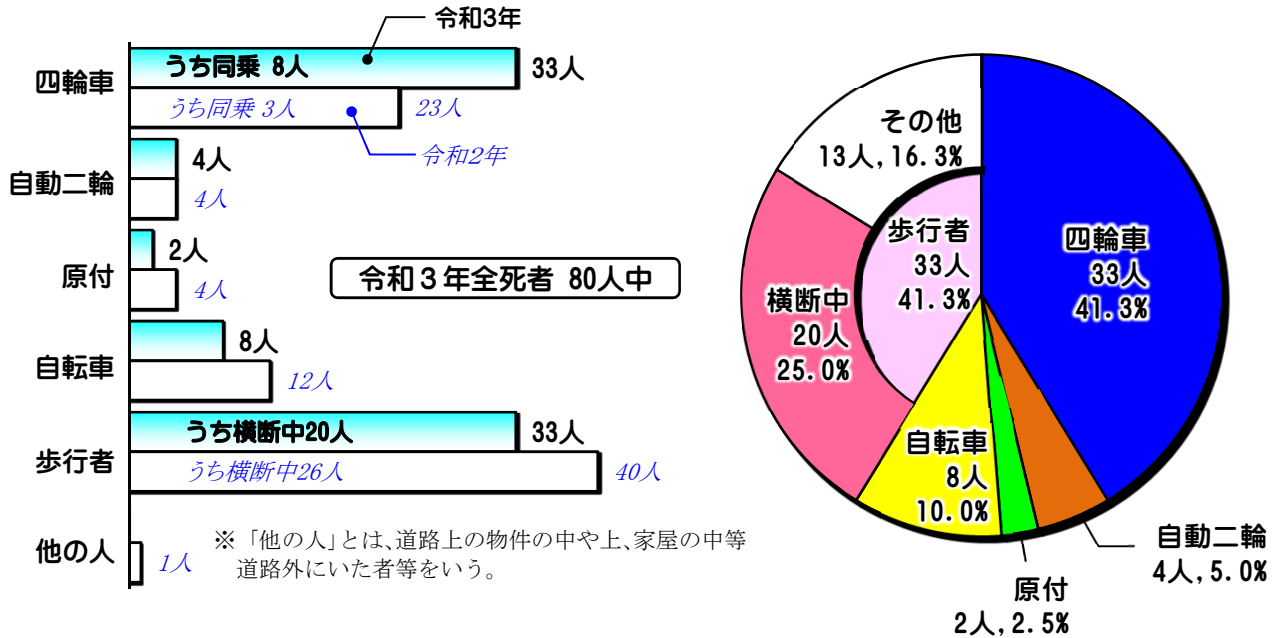
- 「人对車両」が33人で、全死者の41.3%を占め最も多く、次いで「車両相互」(28人)。
- 小類型では「人对車両-横断中」(20人)が最も多く、次いで「車両相互-出会い頭」(14人)。
- 対前年比では「車両相互-出会い頭」(+5人)が最も増加、「人对車両-横断中」(-6人)が最も減少。



状態別死者数

歩行者・四輪車が同数で最多

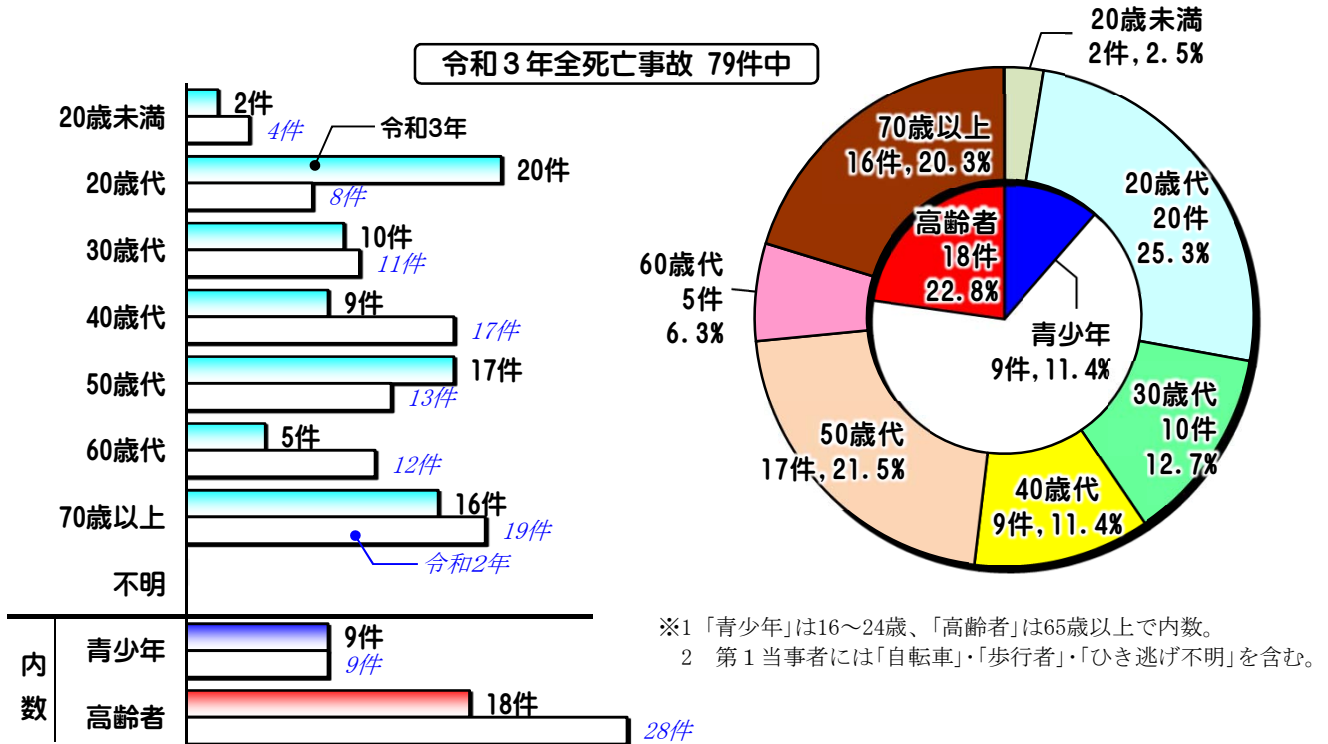
- 「歩行者」・「四輪車」が各33人で全死者の各41.3%を占め最も多い。
【前年は「歩行者」が最多(40人, 47.6%)、次いで「四輪車」(23人, 27.4%)】
- 対前年比では「四輪車」(+10人)が最も増加、「歩行者」(-7人)が最も減少。
「自転車」(-4人)、「原付」(-2人)、「他の人」(-1人)は減少、「自動二輪」(±0人)は同数。



第1当事者の年齢層別死亡件数

20歳代による事故が最多

- 「20歳代」が20件で、全死亡件数の25.3%を占め最も多く、次いで「50歳代」(17件)。
- 対前年比では「20歳代」(+12件)が最も増加、「40歳代」(-8件)が最も減少。
- 内数の「青少年」は9件(±0件)、「高齢者」は18件(-10件)。



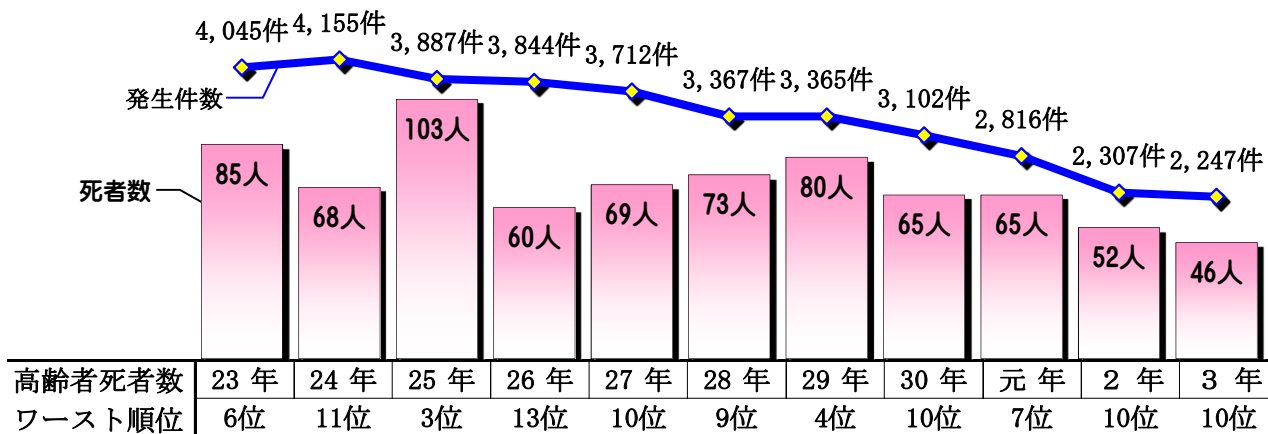
2 高齢者(65歳以上)が関係した交通事故

高齢者が関係した交通事故の推移(平成23年～令和3年)

発生件数、死者数とも減少

- 発生件数は2,247件、減少傾向で推移。全人身事故件数に占める割合(構成率)は37.9%(前年38.1%)で、過去最高率となった前年から下降。
- 死者数は46人、対前年比-6人と減少。全死者数に占める割合(構成率)は57.5%(前年61.9%)。
- 発生件数はピーク時(平成17年・4,927件)の約46%、死者数はピーク時(平成17年・130人)の約35%に減少。
- 死者数(46人)は、全国ワースト10位【前年10位】。

	発生件数	死者数	負傷者数
3年	2,247	46	1,171
2年	2,307	52	1,202
増減数	-60	-6	-31
構成率	37.9%	57.5%	16.2%

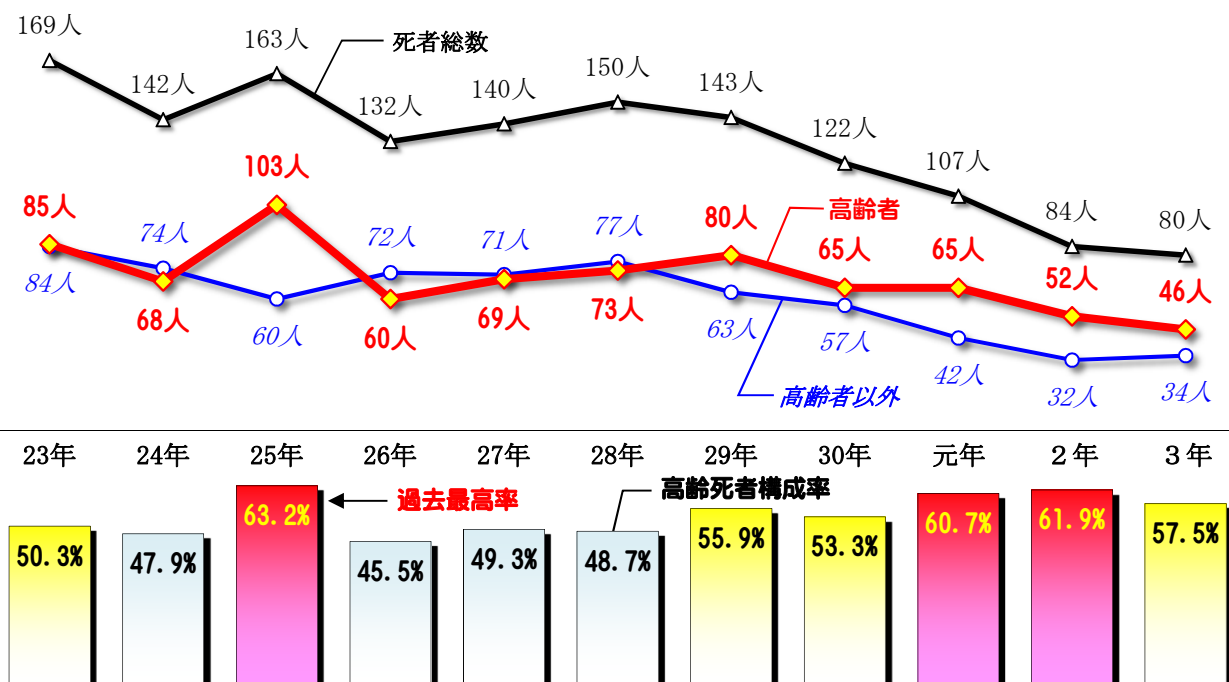


※ 発生件数は、高齢者が当事者(四輪同乗者等を含む)となった件数。死者数、負傷者数は、高齢者本人の被害。以下同じ。

全死者と高齢死者の推移(平成23年～令和3年)

高齢者の構成率は3年ぶりに60%を切る

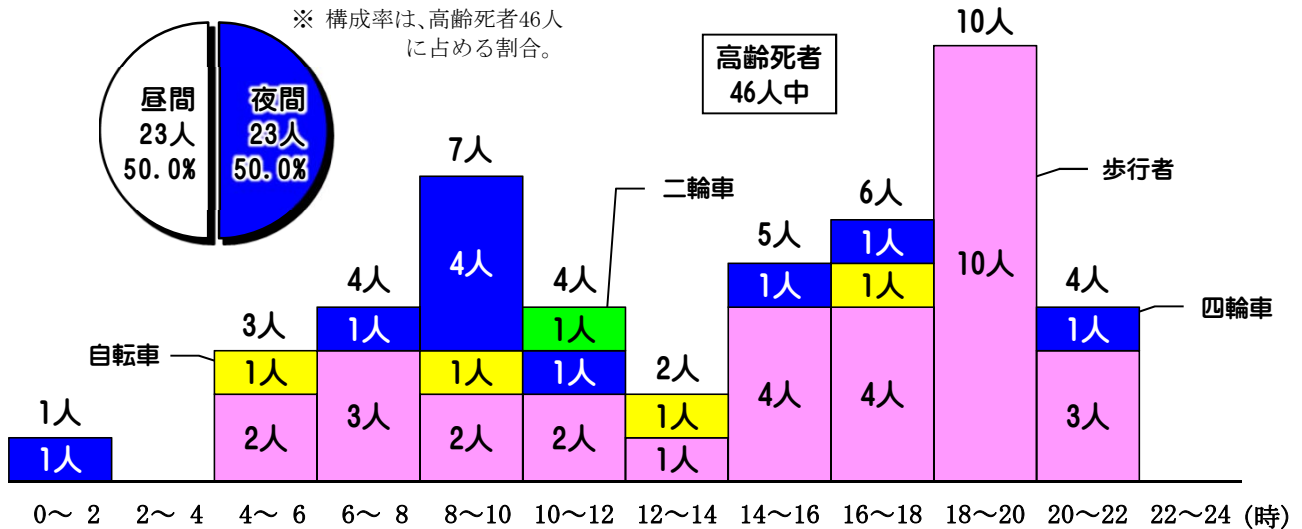
- 死者総数は減少傾向で推移、平成23年(169人)に比べ、約47%に減少。
- 高齢者の死者は、令和2年から2年連続で減少し、令和3年(46人)は過去10年間で最も少ない。
- 高齢者の構成率は、平成27年から上昇傾向で推移、令和元年からは2年連続で60%を超えたが、令和3年(57.5%)は下降した。
- 10年間の減少率比較では、高齢者以外の-59.5%に対し、高齢者は-45.9%と減少率が低い。



時間帯・昼夜別死者数

18～20時が最多

- 昼間が23人、夜間が23人と同数(各50.0%)。
- 時間帯では「18～20時」(10人)が最も多く、次いで「8～10時」(7人)。
- 状態・時間帯別では、歩行者の「18～20時」(10人)が最も多い。
- 「16～20時」(4時間)の16人中、歩行者が14人で87.5%を占める。

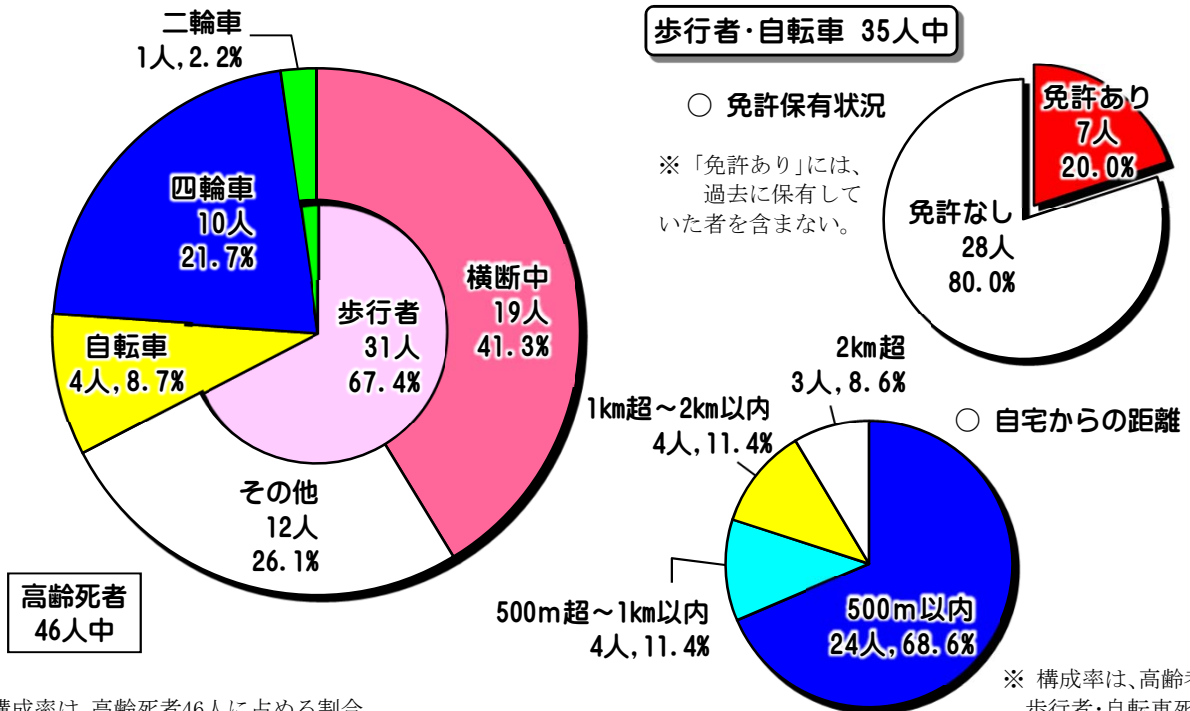


※ 昼夜の区分は、発生日の日の出、日没時刻基準。

状態別死者数

歩行者が約7割

- 歩行者が31人(67.4%)で最も多く、次いで四輪車(10人)。
- 歩行者・自転車の合計は35人、高齢死者の76.1%を占める。このうち80.0%(28人)は運転免許を保有しておらず、68.6%(24人)は、自宅から半径500m以内の場所で事故に遭っている。



※ 構成率は、高齢死者46人に占める割合。

※ 構成率は、高齢者の歩行者・自転車死者35人に占める割合。

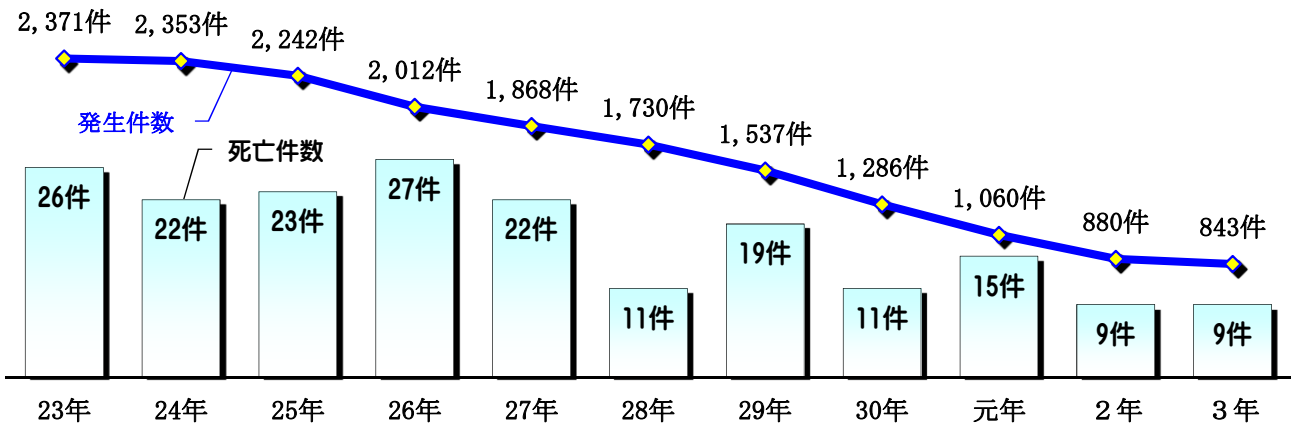
3 青少年(16~24歳)運転者による交通事故

青少年運転者による交通事故の推移(平成23年~令和3年)

発生件数は減少、死亡事故は同数

- 発生件数は843件、平成13年から21年連続で減少し、統計資料の残る昭和56年以降で最少。全人身事故件数に占める割合(構成率)は14.2%(前年14.5%)。
- 死亡件数は9件、前年と同数で、統計資料の残る昭和56年以降で最少(令和2年と同じ)。全死亡件数に占める構成率は11.4%(前年10.7%)。
- 発生件数はピーク時(平成5年・6,795件)の約12%、死亡件数はピーク時(平成4年・172件)の約5%に減少。

	発生件数	死亡件数	死者数	負傷者数
3年	843	9	9	1,083
2年	880	9	9	1,147
増減数	- 37			- 64
構成率	14.2%	11.4%	11.3%	15.0%

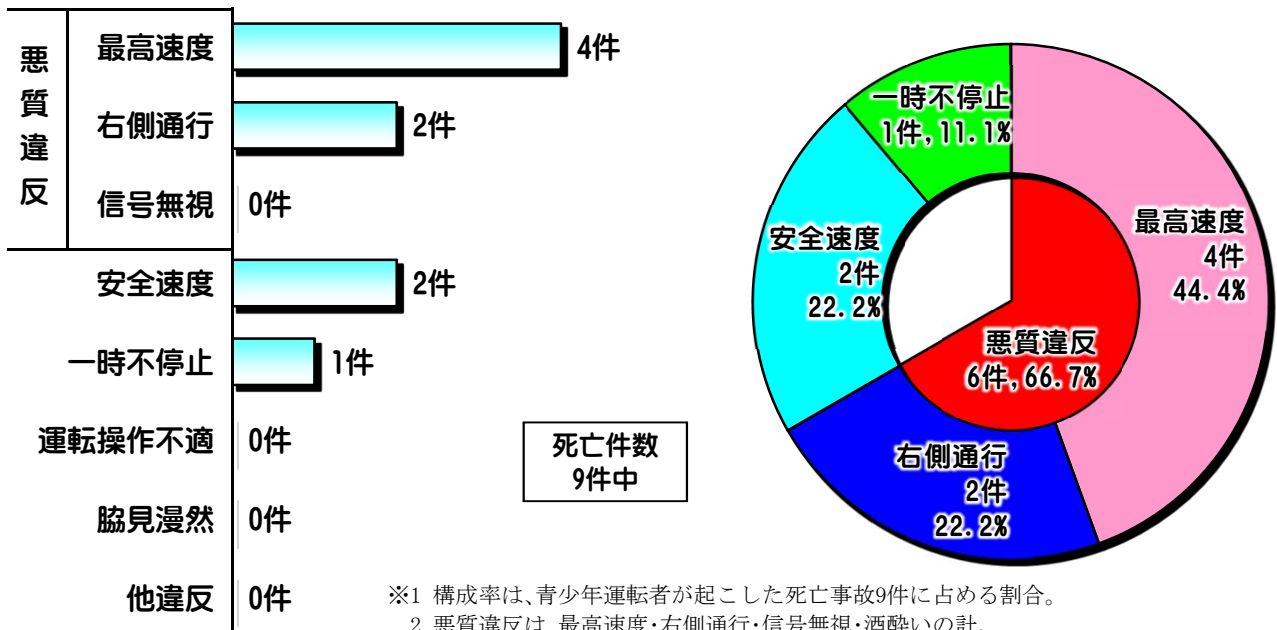


※1 発生件数は、原付以上の車両を運転中の青少年(16~24歳)が第1当事者となった事故件数。死者数、負傷者数は、その事故による全被害で、青少年運転者が死傷しているとは限らない。以下同じ。
 2 死亡件数は、発生件数の内数。

違反別死亡件数

悪質違反が約7割

- 「最高速度」が4件(44.4%)で最も多く、次いで「右側通行」・「安全速度」(各2件)。
- 対前年比では「安全速度」(+2件)が最も増加、「運転操作不適」(-2件)が最も減少。
- 悪質違反(最高速度・右側通行・信号無視・酒酔いの合計)は6件で、66.7%を占める。



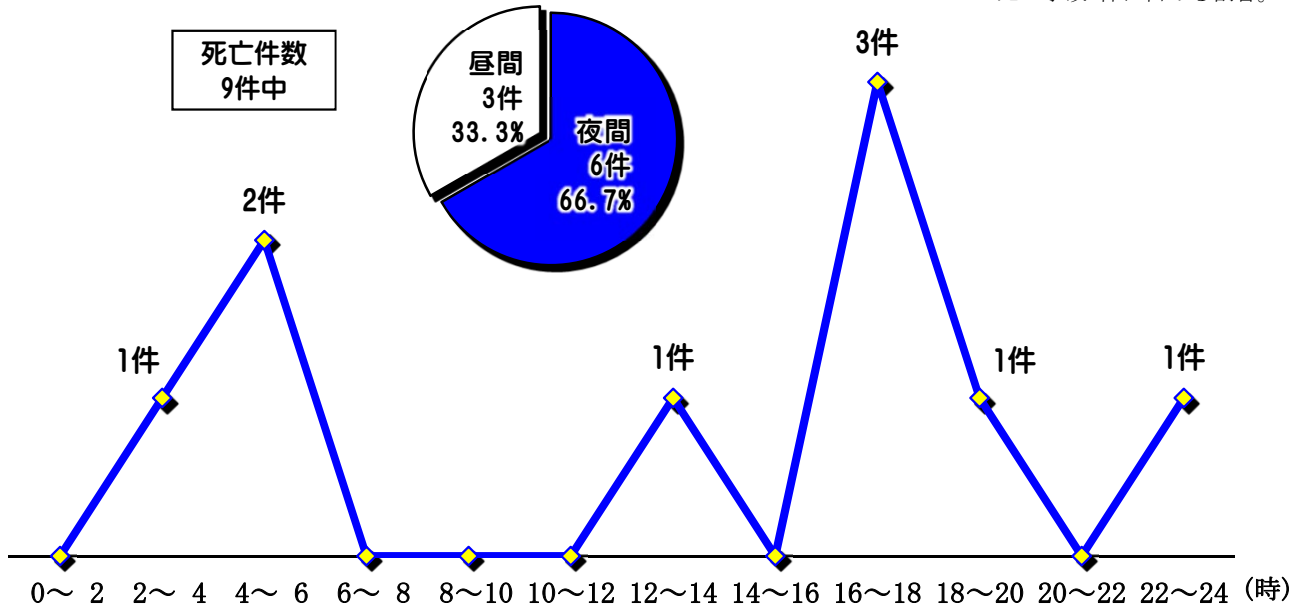
※1 構成率は、青少年運転者が起こした死亡事故9件に占める割合。
 2 悪質違反は、最高速度・右側通行・信号無視・酒酔いの計。

時間帯・昼夜別死亡件数

夜間が約7割、時間帯は16～18時が最多

- 「夜間」が6件(66.7%)と多く、「昼間」は3件(33.3%)。
- 時間帯では「16～18時」(3件)が最も多い。

構成率は、青少年運転者が起こした死亡事故9件に占める割合。

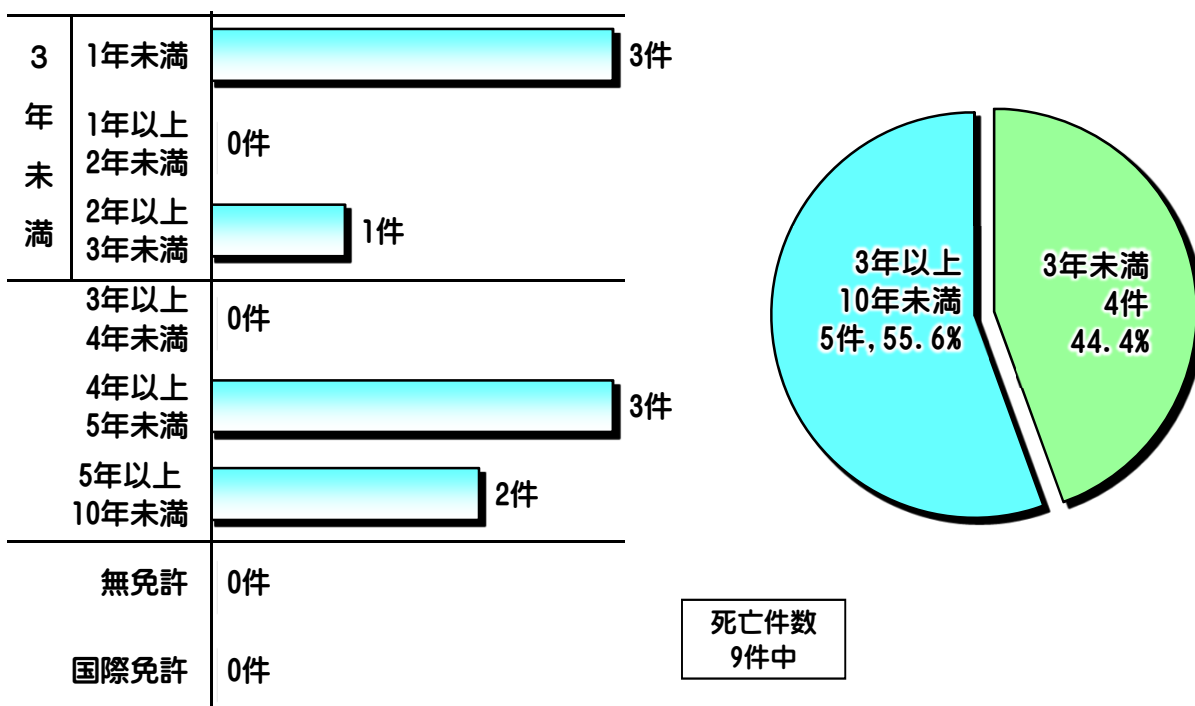


※ 昼夜の区分は、発生日の日の出、日没時刻基準。

免許取得経過年数別死亡件数

免許取得後3年未満が約4割

- 「1年未満」・「4年以上5年未満」が各3件で最も多い。
- 「3年未満の計」は4件で、44.4%を占める。



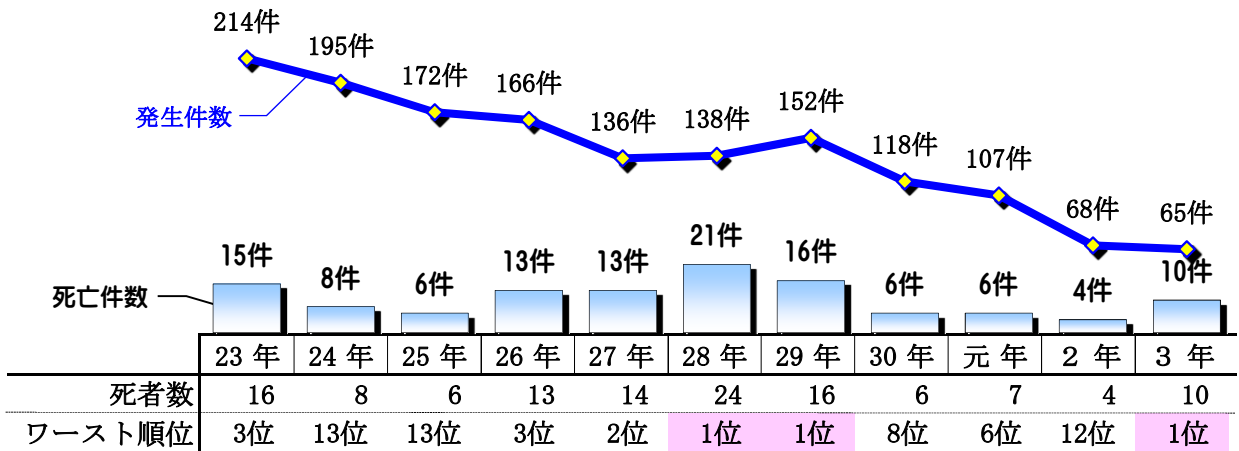
4 飲酒運転による交通事故

飲酒運転による交通事故の推移(平成23年～令和3年)

発生件数は減少、死亡事故は増加

- 発生件数は65件、減少傾向で推移し、統計資料の残る昭和42年以降で最少。
全人身事故件数に占める割合(構成率)は1.1%(前年1.1%)。
- 死亡件数は10件(対前年比+6件)、死者数は10人(対前年比+6人)と増加、全死亡件数に占める割合(構成率)は12.7%(前年4.8%)、死者数は12.5%(前年4.8%)。
- 発生件数はピーク時(昭和49年・1,072件)の約6%、死者数はピーク時(平成3年・111人)の約9%に減少。
- 死者数(10人)は、全国ワースト1位【前年12位】。

	発生件数	死亡件数	死者数	負傷者数
3年	65	10	10	82
2年	68	4	4	89
増減数	-3	+6	+6	-7
構成率	1.1%	12.7%	12.5%	1.1%

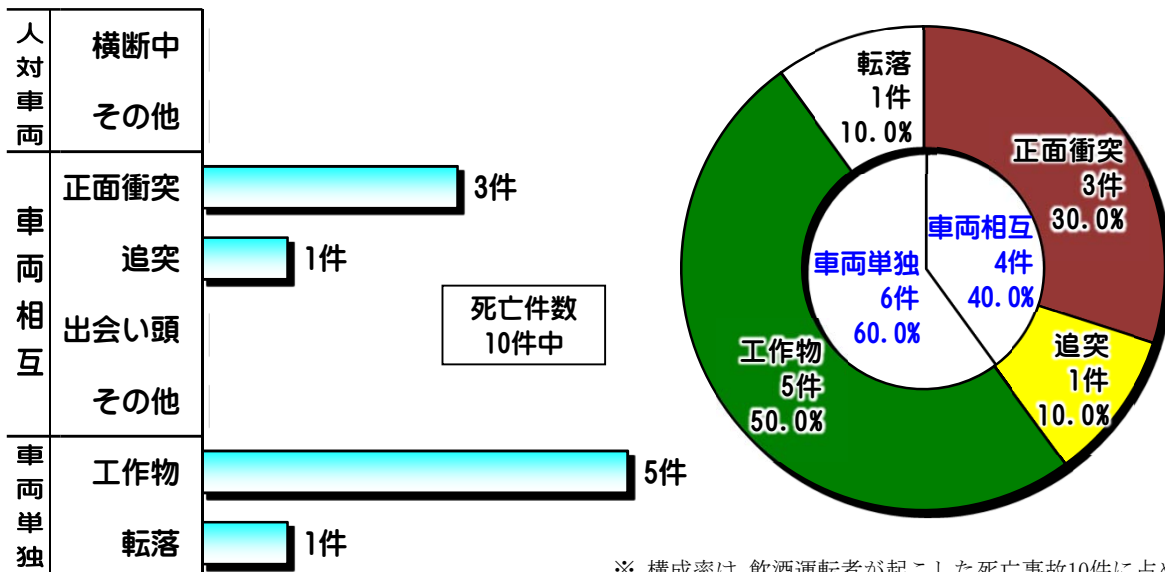


※1 発生件数は、原付以上の飲酒運転者が第1当事者となった事故件数。死者数、負傷者数は、その事故による全被害で、飲酒運転者が死傷しているとは限らない。以下同じ。
2 死亡件数は、発生件数の内数。

事故類型別死亡件数

車両単独が最多

- 「車両単独」が6件(60.0%)で最も多い。
- 小類型では「車両単独-工作物」(5件)が最も多い。

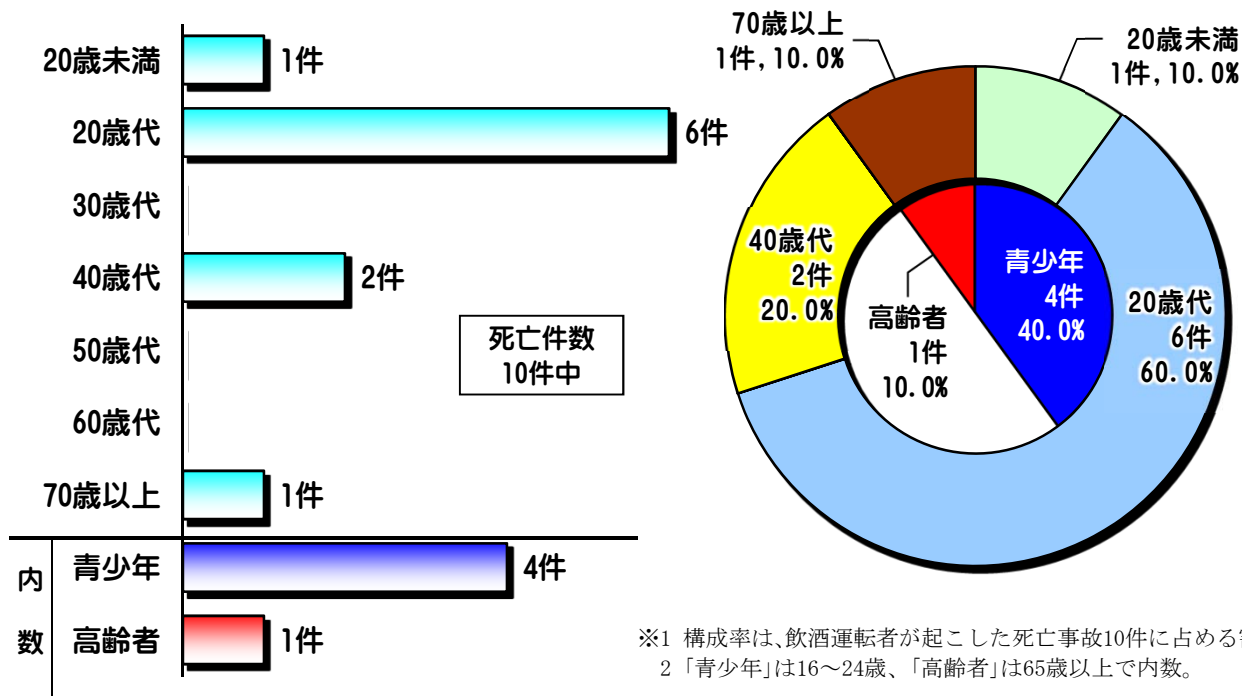


※ 構成率は、飲酒運転者が起こした死亡事故10件に占める割合。

第1当事者の年齢層別死亡件数

20歳代が最多

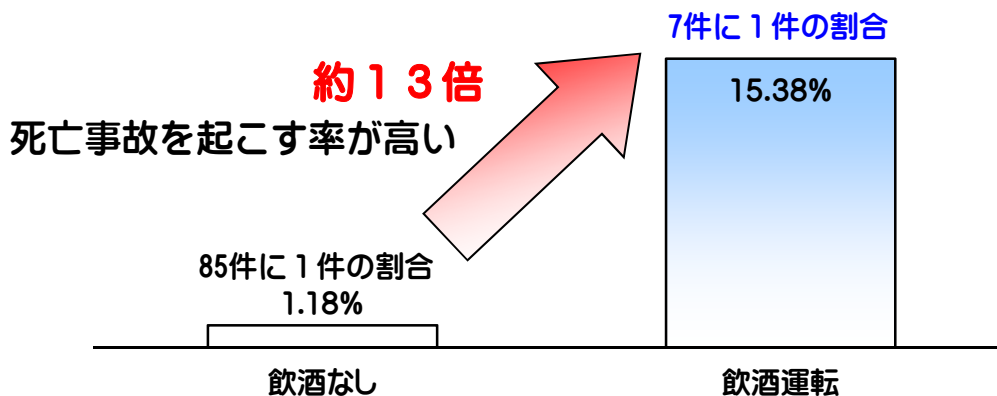
- 「20歳代」が6件で最も多く、次いで「40歳代」(2件)。
- 内数の「青少年」は4件、「高齢者」は1件。



運転者死亡事故率の比較

飲酒運転は約13倍も死亡事故を起こしやすい

- 飲酒運転者は、飲酒なしの運転者に比べ、約13倍も死亡事故を起こす率が高い。



	運転者の飲酒有無		合計(平均)
	飲酒なし	飲酒運転	
死亡件数	67件	10件	77件
発生件数	5,662件	65件	5,727件
死亡事故率	1.18%	15.38%	1.34%

※1 死亡事故率 = (原付以上第1当事者の死亡件数) ÷ (原付以上第1当事者の全発生件数) × 100。
 ※2 死亡事故第1当事者のうち、自転車(2件)・歩行者(0件)・ひき逃げ不明(0件)、
 全事故第1当事者のうち、自転車・歩行者・ひき逃げ不明(計202件)を除く。

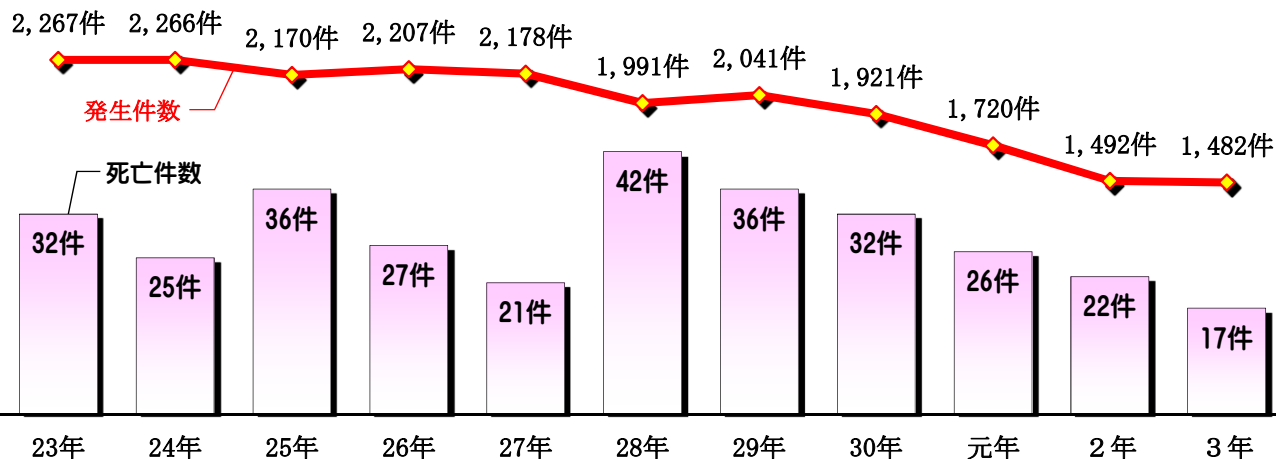
5 高齢(65歳以上)運転者による交通事故

高齢運転者による交通事故の推移(平成23年~令和3年)

発生件数、死亡事故とも減少

- 発生件数は1,482件、緩やかな減少傾向で推移。全人身事故件数に占める割合(構成率)は25.0%(前年24.7%)で、統計資料の残る平成2年以降、最高率を更新。
- 死亡件数は17件、平成28年の増加後、翌29年から5年連続で減少し、統計資料の残る平成2年以降で最小。全死亡件数に占める構成率は21.5%(前年26.2%)で、前年より下降。
- 発生件数はピーク時(平成18年・2,541件)の約58%、死亡件数はピーク時(平成16年・49件)の約35%に減少。

	発生件数	死亡件数	死者数	負傷者数
3年	1,482	17	17	1,786
2年	1,492	22	22	1,810
増減数	- 10	- 5	- 5	- 24
構成率	25.0%	21.5%	21.3%	24.7%

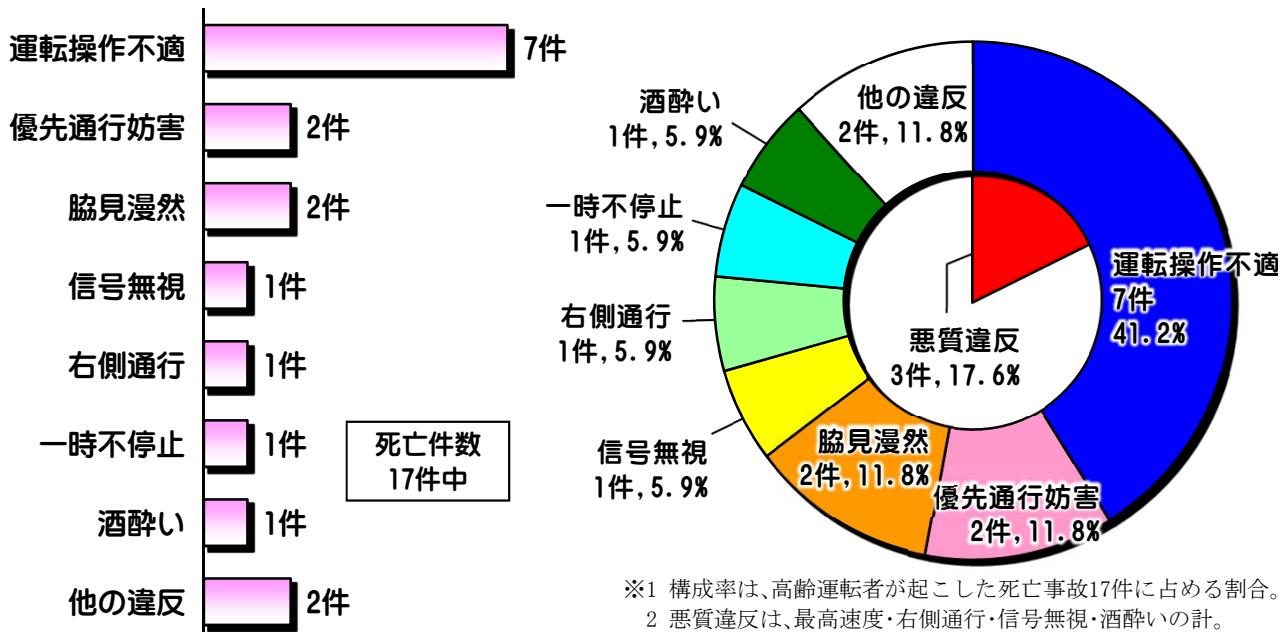


※1 発生件数は、原付以上の車両を運転中の高齢者(65歳以上)が第1当事者となった事故件数。死者数、負傷者数は、その事故による全被害で、高齢運転者が死傷しているとは限らない。以下同じ。
 2 死亡件数は、発生件数の内数。

違反別死亡件数

運転操作不適が最多

- 「運転操作不適」が7件(41.2%)で最も多い。
- 対前年比では「運転操作不適」(+4件)が最も増加。
- 悪質違反(最高速度・右側通行・信号無視・酒酔いの合計)は3件で、17.6%を占める。

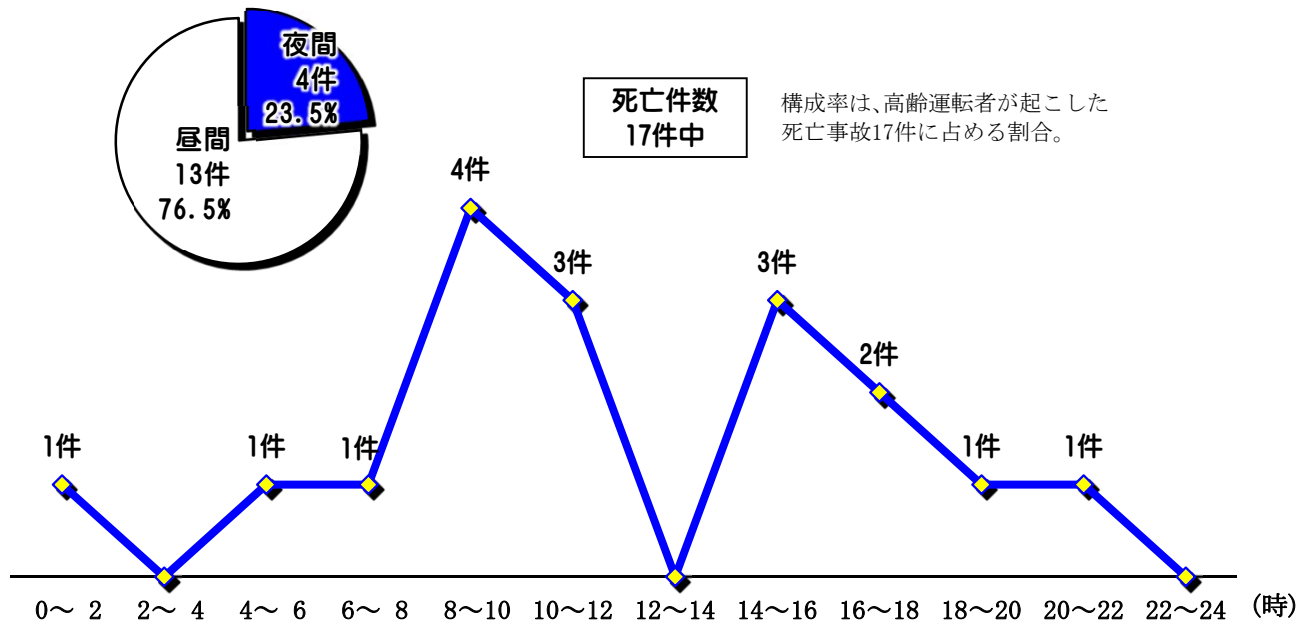


※1 構成率は、高齢運転者が起こした死亡事故17件に占める割合。
 2 悪質違反は、最高速度・右側通行・信号無視・酒酔いの計。

時間帯・昼夜別死亡件数

昼間が約8割

- 「昼間」が13件(76.5%)と多く、「夜間」は4件(23.5%)。
- 時間帯では「8～10時」(4件)が最も多い。

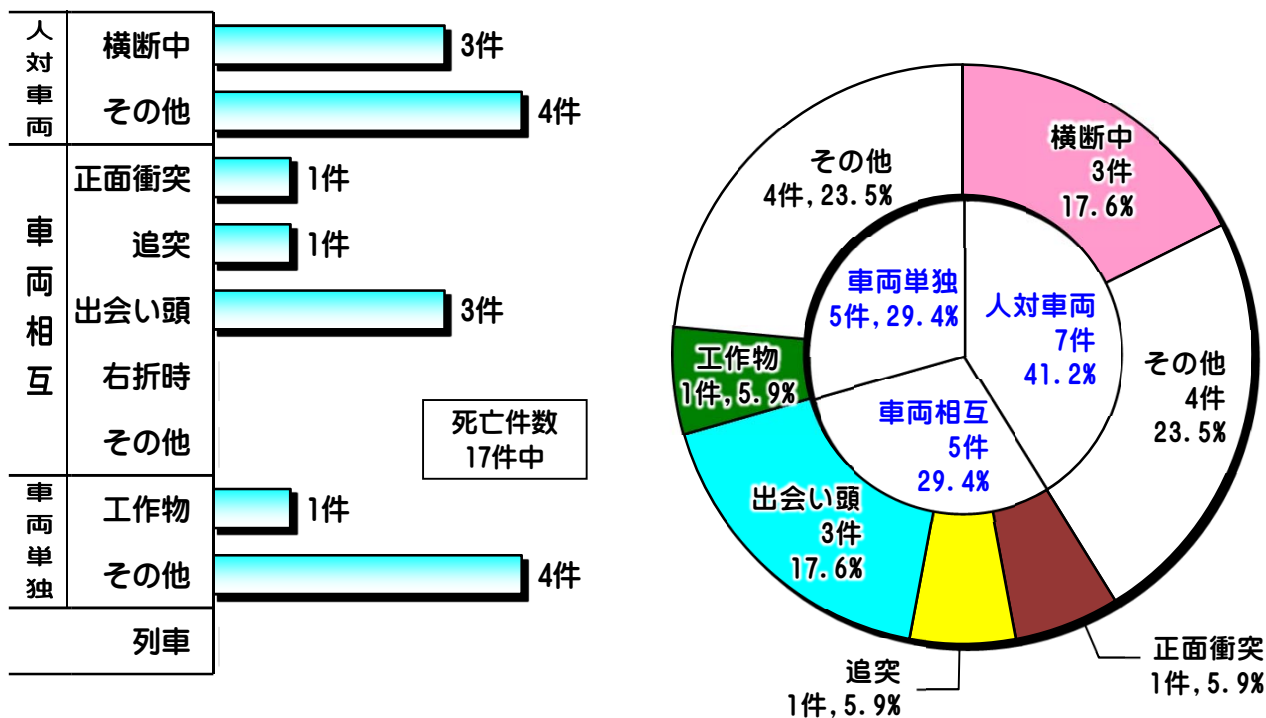


※ 昼夜の区分は、発生日の日の出、日没時刻基準。

事故類型別死亡件数

人对車両が最多

- 「人对車両」が7件(41.2%)で最も多く、次いで「車両相互」・「車両単独」(各5件)。
- 小類型では「人对車両-横断中」・「車両相互-出会い頭」(各3件)が最も多い。



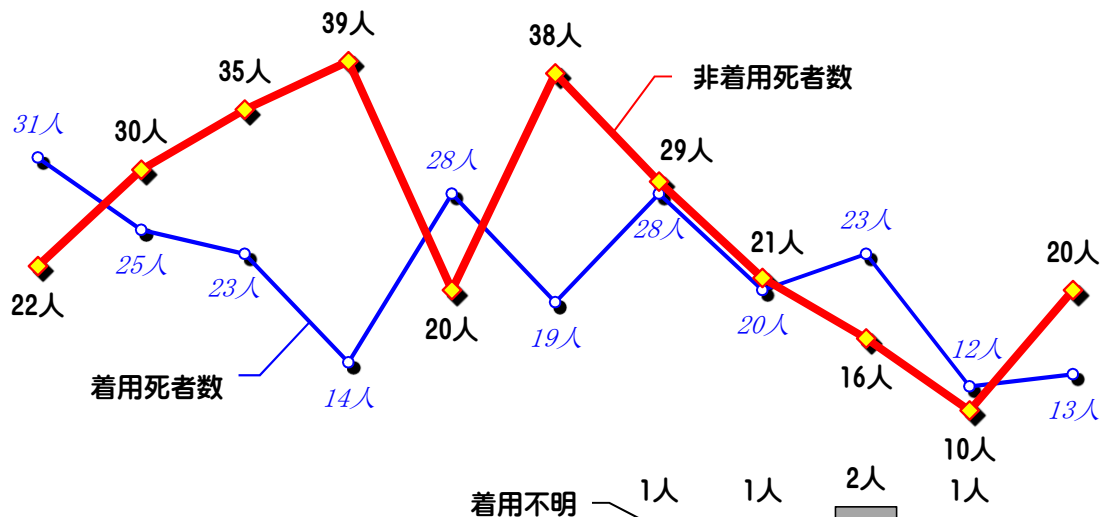
※ 構成率は、高齢運転者が起こした死亡事故17件に占める割合。

6 シートベルト着用状況

シートベルト非着用死者が増加

- シートベルト非着用死者は20人、平成28年の増加後、翌29年から4年連続で減少したが、令和3年は増加。
- シートベルト着用死者は13人、増減を繰り返して推移、令和3年は増加。
- 非着用死者はピーク時(平成5年・203人)の約10%、着用死者はピーク時(平成13年・82人)の約16%に減少。

シートベルト着用別死者数の推移(平成23年～令和3年)

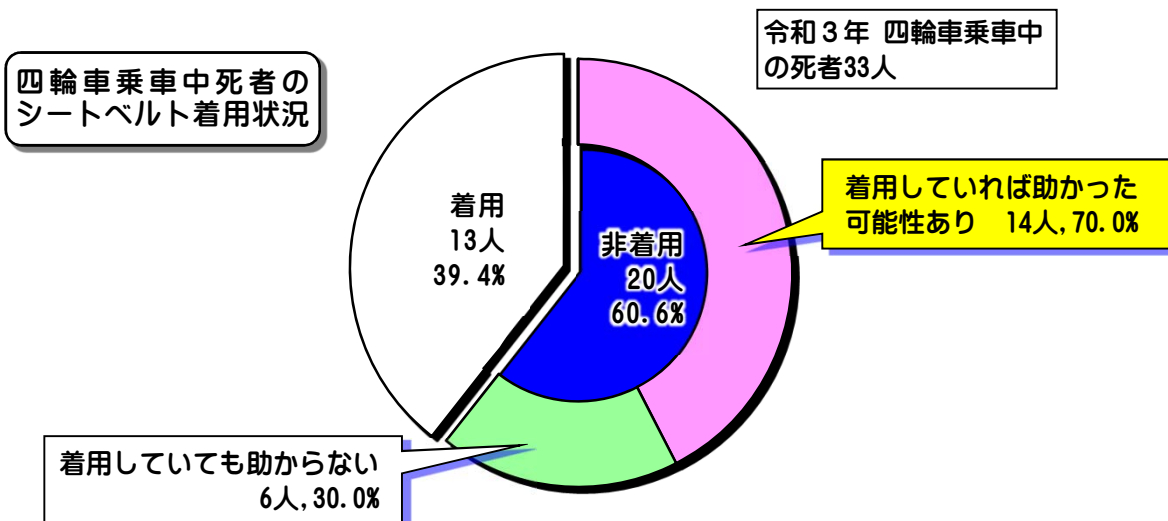


	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年
構成率											
非着用	41.5%	54.5%	60.3%	73.6%	41.7%	66.7%	50.0%	50.0%	39.0%	43.5%	60.6%
着用	58.5%	45.5%	39.7%	26.4%	58.3%	33.3%	48.3%	47.6%	56.1%	52.2%	39.4%
着用不明	-	-	-	-	-	-	1.7%	2.4%	4.9%	4.3%	-

※ シートベルト着用状況の対象は、トラクター等の特殊車を含む、四輪車の乗員全て。

非着用の死者は約6割

- 四輪車乗車中の死者33人中、「シートベルト非着用」が20人(60.6%)、「着用」は13人(39.4%)。
- 「非着用」死者20人中、70.0%に当たる14人は、シートベルトを着用していれば助かった可能性あり。



7 令和4年の総合的な交通安全対策

茨城県警察では、令和4年の総合的な交通安全対策の主な推進項目を

- 交通事故の実態や地域の実情を踏まえた効果的な交通安全対策の推進
- 子供や高齢者をはじめとする歩行者が安心できる交通の確保
- 妨害運転・飲酒運転等を行う悪質・危険な運転者の排除

等と定め、交通指導取締りを始めとする各種街頭活動、関係機関・団体と連携した交通安全対策・広報啓発活動等を推進し、交通事故の更なる減少を目指すこととしている。

一般部門 A 【運転者（同乗者を含む）へ呼びかけるもの】

- ◎ 手を上げる 子どもはあなたを 信じてる
- ゆるさない ハンドル・スマホの 二刀流
- 知らせ合う 早めのライトと 反射材

一般部門 B 【歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの】

- ◎ スマホじゃない 見るのは前でしょ 周りでしょ
- 自転車の すり抜け 飛び出し 事故のもと
- 自転車も ルールを守る ドライバー

こども部門【中学生以下へ交通安全を呼びかけるもの】

- ◎ とうげこう よそみ おしゃべり きけんがいっぱい
- 反射材 光って目立って 金メダル
- あぶないよ 青でもきちんと みぎひだり
- 手を上げて 運転手さんに ごあいさつ

問い合わせ先

茨城県警察本部 交通部 交通総務課

郵便番号	310-8550
所在地	水戸市笠原町978番6
電話	029(301)0110 内線5042
URL	https://www.pref.ibaraki.jp/kenkei/a02_traffic/index.html
E-mail	keikoso@pref.ibaraki.lg.jp